

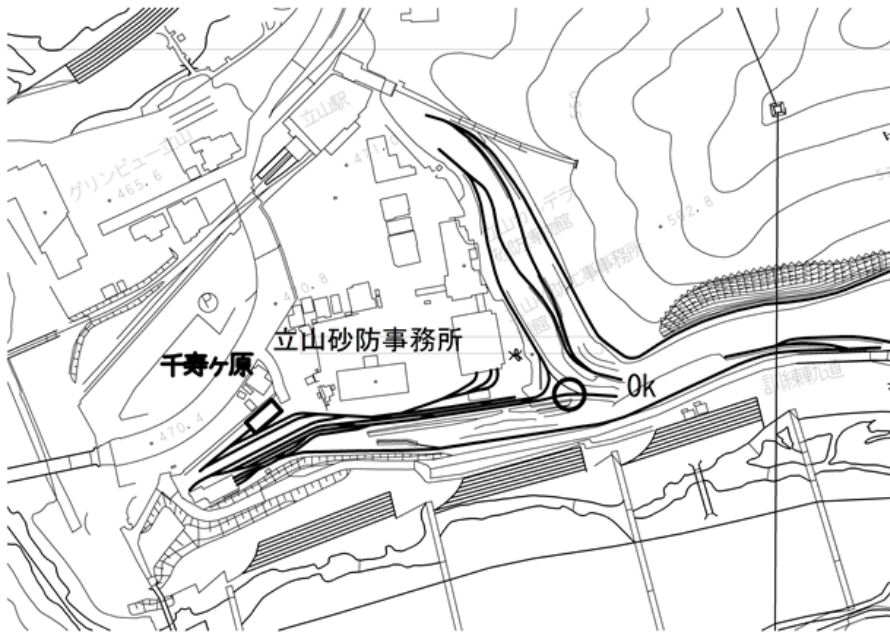
## □利用実証提案書

## ■利用実証計画書

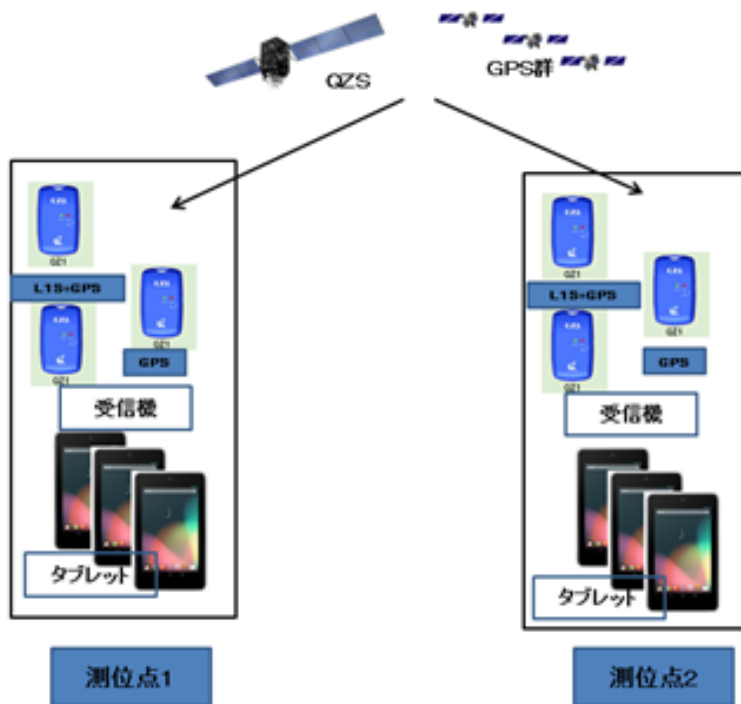
平成 28 年 2 月 4 日 Ver.1

テーマ	定点でのGPS単独測位とL1Sの精度比較、L1S連続測定における位置データ(緯度、経度)の時間変動計測、同一測定点でのL1S複数受信機間の時間変動比較。	
実証参加機関 (共同機関)	国土交通省北陸地方整備局立山砂防事務所 (アジア航測株式会社、株式会社クルール、株式会社ICTサポート)	
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定点観測によるGPS単独測位とL1Sの精度比較。</li> <li>・連続測定におけるL1S受信機の緯度、経度の時間変動。</li> <li>・同一測定点におけるL1S複数受信機間の時間変動比較。</li> </ul>	
期間	全体	2016年2月22日～2016年2月26日
	時間・頻度	<ul style="list-style-type: none"> <li>●時間:10時～15時</li> <li>●頻度:2月22日～2月26日の間毎日</li> </ul>
実施場所	<p style="text-align: center;"><small>ナカニイカワグン・タテヤママチ・アシクラジ</small></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地名:富山県中新川郡立山町芦峯寺(別途 実験実施場所平面図)</li> <li>●環境:オープンスカイ/片面崖/樹木/</li> <li>●その他:降雨時は実施予定。積雪時はその時点で実験の可否を判断</li> </ul>	
構成 ※必要に応じて構成図等を次ページ以降に添付	<ul style="list-style-type: none"> <li>●システム全体構成(別途 測位システム全体構成図) 受信機(QSSより借用のQZ1)、データ蓄積用タブレット(QSSより借用)</li> <li>●データ処理 測位データの処理はエクセルによるグラフ化(計測した定点での緯度、経度の時間変動、複数受信機の変動比較等)。専用ソフトは用いない。</li> </ul>	
内容 ※必要に応じて次ページ以降に添付	<ul style="list-style-type: none"> <li>●実証概要 <ul style="list-style-type: none"> <li>・端末設置状態 静止</li> <li>・測定点数(静止の場合) 2地点</li> <li>・取得するデータ NMEAデータ</li> </ul> </li> <li>●実証の確認及び評価(利用効果の定量的評価方法) <ul style="list-style-type: none"> <li>・GPS単独測位とL1Sの精度比較(一定の計測データの平均による)</li> <li>・緯度、経度の時間変動</li> <li>・受信機間での緯度、経度の時間変動比較</li> </ul> </li> <li>●確認時期 <ul style="list-style-type: none"> <li>・後処理とする</li> </ul> </li> </ul>	
受信信号	<ul style="list-style-type: none"> <li>●使用する測位信号名を記載</li> <li>・GPS:L1C/A</li> <li>・QZS:L1C/A、L1S</li> </ul>	
受信設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>●使用する測位信号受信機などを記載</li> <li>■貸与品目/数(QZ1受信機6台(L1S+GPSモード4台、GPS単独モード2台)、タブレット(NEXUS)6台)</li> <li>□持込品目/なし</li> </ul>	

ソフトウェア	●マイクロソフト社のエクセルによるグラフ化を主とする。専用ソフトは用いない。
実証前の要求事項	
実証時の要求事項	
実証後の要求事項	
その他	



実験実施場所平面図



測位システム全体構成図